Vol.65

まるとみ新聞

newspaper
'19 Apr.

発行所
北九州市若松区本町 1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまい de スマイル
31年4月号

住まいの雑学 TRIVIA

シェアハウスのすすめ

昔の下宿屋や社員寮なども
まかないつきのシェアハウスといえるね。

いま日本が抱える高齢社会の課題のひとつに空き屋問題があります。また現在大きな家に一人暮らしという独居世帯も増えており、空き屋はますます増える傾向です。その活用方法のひとつとして今回、シェアハウスをご紹介します。

シェアハウスとは?

シェアハウスはもともと、家賃や光熱費を節約するため一戸建てなどを数人で借りるという発想から生まれたもの。個室をプライベート空間とし、リビングやキッチン、浴室などを共有スペースとするためファミリータイプの間取りがそのまま活用可能です。

海外では昔からよくある方式ですが、一戸すべてを貸すのではなく、貸し主がそのうちの一室に同居しながら、使わない部屋だけ貸すという方法もあります。

資金面でメリット大

シェアハウスへ入居する人の目的は、節約のほかに同居人がいるという安心感、異業種交流できるなどのメリットがあるため築年数がたった物件でもあまりデメリットにならないのがポイント。魅力のある設備を加えるなどハード面の工夫次第で価値を上げることも可能です。

水廻りの設備なども使用に問題がなければ交換の必要はありません。つまり、初期投資を低く抑えられるのが最大のメリットといえます。

ただし共同住宅となるため、建築基準法や消防法などをクリアする必要があることや、各部屋へのテレビ端子、エアコン設置、古い家では電気容量を増やすなどの改良工事は必須。また家具家電つきが一般的なので、備品のための費用が発生します。

重要なのはルールと管理

現在はシェアハウスの賃貸を専門に扱うポータルサイトなどもあり、若者や外国人を中心に人気を集めていますが、残念ながら騒音やマナー違反、人間関係のトラブルなどの問題があるのも事実。

近隣とも同居人ともトラブルのない健全な住まいを提供するために大切なのは①入居者の審査 ②しっかりとしたシステムやルールづくり ③運営・管理。家賃さえ入ればあとは入居者まかせ、というアパートのようにはいきません。遠隔地にいてご自身で管理できないという場合には、管理委託という方法もあります。

トコロ変われば

パリに降る赤い雪 ■ヨーロッパ

じつは黄砂も
日本上空を通り越して
地球をほぼ一周
しているんだって。

フランス・パリでは、まだ寒さの残る春先にほんのり赤い雪が降ることがあります。これが積もるとまるで血で染まったように見えることもあり、はじめて見る人はびっくりしてしまうかもしれません。

じつはこの雪の正体は、アフリカのサハラ砂漠から運ばれてくる砂。サハラの砂はそのほとんどが石英の微粒子で、表面が酸化鉄で覆われているため赤い色をしています。それが春の強い季節風に乗ってヨーロッパに運ばれ、上空の寒気によって砂を核とした氷の結晶ができ、赤い雪を降らせるわけです。

サハラ砂漠から風に乗りヨーロッパに飛来する砂は年間じつに100万トンにおよぶといい、遠くロシアやアメリカにも到達するほど。南米アマゾンには年間2800万トンもの赤い砂が降っているといいます。

日本でも春に中国大陸から飛んでくる黄砂に悩まされますが、サハラの砂も呼吸器疾患の原因になるなど大気汚染物質として人々を悩ませています。しかし一方で、豊富なミネラル分を海や大陸にもたらし、陸海両方の生態系に欠かせない栄養源ともなっているのだそうです。

すまいるライフ

おしえて仙人!

リフォームの基礎知識 Basic Knowledge

見た目だけじゃなくて
機能性で壁紙を
選ぶ時代なんだね。

◇壁紙(クロス)選びのポイント

家の中でも壁は面積が大きく、インテリアの印象を決めるベース部分。色や柄を選ぶのも大変ですが、まずはクロスの種類についてご紹介したいと思います。

◇ビニールクロス

価格が安く耐久性があり、色やデザインも豊富なことからもっともよく使われます。最近では消臭・抗菌、防カビ、耐摩耗、防汚など機能も多彩。ただし通気性、調湿性に欠け、塩化ビニルや添加剤がシックハウス症候群の原因になることが指摘されています。

◇紙クロス

欧米で主流の洋紙タイプと和紙タイプがあり、輸入クロスは独特かつ豊富なデザインが人気です。吸音性や通気性があり環境や健康にもやさしい素材ですが、価格は高め。水拭きできないものが多く、下地処理にも手間がかかります。

◇織物(布)クロス

木綿や麻、絹、レーヨンなどの織物で作られており、高級感や重厚感があります。頑丈で吸音性・通気性にすぐれますが、ほこりや水分を吸着しやすいので定期的なメンテナンスが必要。施工業者選びも少し大変です。

◇木質系クロス

薄くスライスした天然木やコルクを紙と貼り合わせたもの。カントリー調の空間づくりに最適ですが、他のクロスよりも高額なので腰壁に使うなどアクセントクロスとしての利用が多いようです。

◇無機質系クロス

石や金属、ガラス繊維などでできたもので、素材の印象をインテリアに生かすことができ、防火性にすぐれています。

◇珪藻土クロス

紙に珪藻土や漆喰をコーティングしたもの。手頃な値段で珪藻土や漆喰風の壁がつくれ、防火性、調湿性、消臭効果が期待できます。

ちがいは?

老健は病院退院後に
入所する人が多いね。

特養と老健

特別養護老人ホーム(特養または老人ホーム)も介護老人保健施設(老健)も介護保険をおもな財源とする介護施設で、要介護認定を受けた人が利用できます。公的サービスなので民間の有料老人ホームなどのように入所時にまとまったお金を払う必要はありません。

特養は中〜重度(要介護3〜5)の高齢者が「身体介護や生活支援を受けながら居住する施設」で、入所後は終身利用が可能。とくに治療やリハビリを目的としない福祉的な意味合いの施設といえます。多くが終身利用のため待機者が多く、希望してもなかなか入所できないのが問題点です。

それに対し老健は「在宅復帰を目的に治療やリハビリをおこなう施設」。こちらは要介護1〜5の人が原則3か月間(延長あり)、医師や作業・理学療法士による医療ケアとリハビリを受けて自立をめざす医療系の施設といえるでしょう。

春季大祭が終わって
桜が満開の恵比須神社です。